

安芸高田市過疎地域持続的発展計画（案）に対する意見募集のご報告について

令和3年12月7日

担当部署：安芸高田市 企画振興部 政策企画課

市民等の皆様に対して、安芸高田市過疎地域持続的発展計画（案）に対する意見募集を行ったところ、3通（6件）のご意見をいただきました。

いただいたご意見の概要とそれらに対する安芸高田市の考え方を、次のとおり取りまとめましたのでご報告します。

○意見募集の期間：令和3年11月12日（金）から11月22日（月）

（とりまとめ）

番号	いただいたご意見	安芸高田市の考え方
1	<p>計画(案)を全体的に拝見するに、随所にICT, IT, 情報化という文字が出てきます。情報化を進めるには、まず情報インフラの整備が欠かせません。しかし、安芸高田市の「あじさいネット」に関して言うと、しばしば接続が途切れるうえ、対応が24時間体制ではなく、また、光インターネットに関する限り「あじさいネット」しか選択肢がないという、情報インフラとして「致命的」としか思えない欠陥があります。</p> <p>高速インターネット網につきましては、5G となるであろう携帯電話通信網を活用するか、光ケーブルを使うのであればしっかりと信頼性を確保するか、「部分的な更新」ではなく、高速インターネットにどうやって接続するのかというところからの、抜本的な見直しをお願いしたいと思えます。</p>	<p>【ご意見の一部を反映します。】</p> <p>情報インフラは極めて重要な項目であると考えています。この分野での技術革新のスピードは目覚ましく、大手通信事業者が提供する標準的なサービスは、常に向上が図られています。</p> <p>本市においては、大手通信事業者による光通信サービスの提供がなされる見込みが無いことから市が独自に光ネットワークを整備したという現状ですが、ご指摘のとおり、より高速で利便性の高いインターネット接続サービスの提供を推進することは必要と考えますので、その旨を本文に反映します。(P23)</p>
2	<p>過疎化・高齢化の進行は、市内均一ではない。過疎化・高齢化が進んでいない地域にはそれなりの理由がある。地域おこし協力隊の活動は日本全国で行われている。過疎化・高齢化があまり進んでいない地域・集落</p>	<p>【事業実施の際の参考にします。】</p> <p>ご指摘のとおり過疎化は地域によって進み方に差があります。</p> <p>都市部から過疎地域に人の動きをつくる「地域おこし協力隊」について</p>

	<p>に人・金を集中することで、さらなる若者の定住に結びつけられるのではないだろうか。</p>	<p>は、当市でも平成 27 年から取組を始め、地域で新しい動きが起きつつあると感じています。今後も引き続き若者の定住に結びつく取組を進めてまいります。</p>
3	<p>東京では 20 代の車の免許保有率が 30% 台と聞く。車がなくても生活できる街作りを目指したらどうだろうか。自転車道を整備し、学校・病院・スーパー・役所には気軽に自転車で移動できる街である。子育て中の家族には乗合ワゴンの利用も検討してほしい。広島支店への転勤の際の移住先として安芸高田市が選択肢となるよう環境整備を図る。また、車より自転車での移動者が増えれば、市内での消費が増えるだろう。さらに転勤族の子供が多くなれば小学校の学力の大幅アップが期待できる。</p>	<p>【事業実施の際の参考にします。】</p> <p>本市における市民の主な移動手段は自家用車によるものが大多数を占め、自転車の利用は低迷しています。</p> <p>環境に優しい自転車の活用は今後大きな可能性があると考えますが、起伏に富み冬季の積雪が多い中山間地域で市民の日常の移動手段をして推進するには、多くの課題があると考えています。</p> <p>一方で、都市部から本市を訪れる観光客向けとして、新たな魅力づくりにつながると思われ、検討してまいります。</p> <p>また、乗合ワゴンについては自家用車を運転されない高齢者等により利用されており、好評を得ています。</p> <p>引き続き最適な移動手段の検討を進めてまいります。</p>
4	<p>高齢者福祉で高齢者の社会参画が上げられている。体力に自信のある高齢者に市道の清掃業務を委託してはどうだろうか。過疎化・高齢化が進んだ集落では地元の住民だけでは市道の清掃をすることは限界にきている。これは基幹集会所を進めることにもなる。</p>	<p>【事業実施の際の参考にします。】</p> <p>地域における環境整備は、多くの地域で地域振興会をはじめとした地域の活動としてなされています。</p> <p>今後、さらに高齢化が進み、担い手不足が心配される状況もあり、持続可能な方法について検討を進めていきます。</p>

5	<p>高校生の地元企業への誘致:就職先の決定に当たっては、親・友人の評価が大きい。地元企業を選択できるよう企業HPの作成や新入社員研修など環境整備に努めることが肝要と思われる。そのためにも市・教育委員会・ハローワーク・商工会等の連携が必要。</p>	<p>【事業実施の際の参考にします。】</p> <p>ご指摘のとおり、高校生と地元企業等地域との接点が少ない現状に対する課題感を高校や地域と共有し、新たな連携事業のあり方の協議の場を設定しております。</p> <p>今後は、その協議の場で具体的な取組について検討してまいります。</p>
6	<p>インターネットの一層の利用を。ネット全般の利用は高齢者には荷が重いので You tube の映像を「テレビ」で見ってもらうことから始めては。光回線を引いている世帯(家)で教えてもらうルーターwifi で何台かのテレビで視聴できるようにしてどんな映像が今世間で公表されているか、それがネットがあればいかに簡単に世界の情報が見れるかを知ってもらう。テレビを見る感覚で今は You tube が見れる環境なので利用しない手はないです。</p> <p>このため You tube で光回線を引いている人之間借りを wifi で行い、net の入り口を体験してもらって You tube での情報発信に進んでもらう契機を作っては？田舎の農業や生活の情報は多くの人の聴取対象になるのでは？光回線を引いていない隣家の人が wifi で間借りできるか否かが業者との間で問題になるのでしょうか。</p>	<p>【事業実施の際の参考にします。】</p> <p>ご提案のとおりインターネットの活用方法は今後ますます多様化してくると考えています。</p> <p>市としてもネットを活用した情報発信に今以上に取り組み、市民の皆様が容易に必要な情報を取得でき、生かしていけるよう検討してまいります。</p>

※いただいたご意見は、原文のまま記載していますが、計画に直接関係が無い部分は記載を省略しています。